



共產主義者大會  
十七日世界共產主義者大會が開催された(モスクワ)

大使館開設勸誘  
北京駐在の露國公使カラハンは支那政府に對しモスクワへ大使館を設置すべきやう勧告した(北京)

佛蘭西の政變  
上院議長ドメルク氏共和國大統領に選舉されベルサイユ宮で就任式を行又新内閣はエリオ氏に依り組織された(巴黎)

南米行歐州移民  
米國の新移民法の爲上陸出来なくて歸歐する多數の移民は南米へ向ふであらう南米航路を有する汽船會社は茲二月内に出帆する船の三等坐席は既に満員切れてゐる(倫敦)

軍艦椿事ご濱車強盜  
装甲戦艦ミッショービー號がサンペドロ灣に入港しやうとする時十四時砲塔爆破し死者四十名負傷者二十名を生じた(加州サンペドロ)

西班牙人及地主利人で伯、亞、秘諸國へ向はんとする労働者である、又各種技術専門家で移住する英國人も頗る多數に上つてゐる(倫敦)

シカゴ來報に依れば同市を距る二十哩の地點で一團の賊徒一列車を襲撃し郵便車から二百萬両の現金を奪ひ纪念碑の除幕式が十五日新首相臨席の下に舉行された(巴黎)

米國三國際競技  
巴里のオリムピア競技參加の米國選手男女二百五十三名は十七日怪大な見送の下に渡航した選手中には徒競争選手百名、駕駒十一名、拳闘二十六名、自轉車七名、駕駒家十七名、水泳選手男子卅六名女子廿四名がある(紐育)

當地帝國總領事館の江越技師の調査

サンバウロ州内外  
外國人有珈琲樹數

全部の約三割  
昨年聖州内珈琲樹稅徵收の爲調査した結果に依れば同年現在州内の農場數三萬二千四百八十六でフルマードの珈琲樹總數七億九千三百五十三萬七千六百四本で此内外國人に屬するものは農園數一萬三千百九十七加呉樹數二億三千六百三十八萬二千三百九十一本で總數の二割九分七厘に當る(サンパウロ)

その主なる國籍別所有數は次の如く  
伊太利人  
葡萄牙人  
西班牙人  
猶太人  
其他諸国人

上級別  
珈琲樹數  
伊太利人  
葡萄牙人  
西班牙人  
猶太人  
其他諸国人

旅館  
和洋御料理一切  
上地彌藏  
東京館  
電話番号  
S. Paulo

薯を救へ  
農業者諸君へ急告  
馬鈴薯の豊作をお望みになるなら植付の前に種薯を伊太利ミラノのカッファロ(To Calafano)一水百四十グラムを撒布して雨が多かつたり暑過ぎたりして起り易い病害ベロノスボラを豫防し救済下さい。

總ての作物にボーラ・カッファロの溶液を撒布して雨が多かつたり暑過ぎたりして起り易い病害ベロノスボラを豫防し救済下さい。

御菓子及酒類色々並  
ニ煙草セレンヘイマ  
ンヂウあり  
御菓子店  
總務課  
電話番号  
S. Paulo

セントラル線の土地賣却

果物蔬菜等作牧畜等に好適地一地區五、七、十、アルケーレス宛に分割し拂込客易廉價賣却希望者は左記へ

Proprietario Dolar do S. Paulo

Agente, P. Quo Rua B. de Jangouz, 15

Mos das Cruzes, L. Central

電話番号  
S. Paulo

モスダスクルス

大正十三年六月十二日

金

第十五回

代議士一覽

(中)

總選舉當選 大正十三年五月十日清浦内閣の下に執行

豊橋市二名

岡崎市二名

口喜六(草)

郡部(八名)

佐々木智四

木音一(本)

佐藤嘉慶

山武古牧

上野良孝

弘前市一名

藤鐵男(政)

郡部(五名)

野村治三

蒲原正太郎(本)

郡部(五名)

野村秀雄

森定七(名)

青森市一名

藤鐵男(政)

郡部(五名)

野村利馬

郡部(七名)

西澤定吉(政)

郡部(七名)

高橋熊次郎(政)

郡部(七名)

齊藤金三郎(政)

郡部(七名)

西澤定吉(政)

郡部(七名)

## 荒野の試練

(四)

基盤の生涯

既に「神の子」の使命が「パン問題」解決にあらず更に神と自分の關係に付て些の疑問もなくなった基督は當然行きつくべき道程として乾坤一擲其使命遂行の雄圖に迫つて来たことが解ります。そして其場合に受けた試練こそは最も大なるものであります。それは即ち「禍魔また彼を最高き山に携へ行き世界の諸國と其榮華と共に見せて爾もし俯伏して我を拜せば此等を皆爾に與ふべし」との強烈の説教であります。ヨルダン河畔の靈的實験にて氣力を盡ひ力山を抜く程の國民は嘆むる所である。汝は今正に神の確信を有して起たざるか。汝の國は亂れて山河依然たる事既に久し。汝此哀れむべき亡國の慘状を眞視するに忍びんや。汝は今正に神の權能を行使し得る地上の王者である。若し汝に一片國を思ふの赤心あらば須く劍を抜いて起つべし。多年汝の國民を要しつある者も正しくその國民を殺す。汝の其確信と其霸氣とを認められ、汝の手の中にあり。汝之手に馬を馬銀鞍に跨つて國民歎呼の聲に迎へられる汝の華々しきその凱旋の姿を！凱歌は萬城の都に充ち美女は錦織の衣に蘭麝の香を満はせて歌ひ心懸物とし弱氣滿天に漲る英雄と舞ひの如くありませんが最後に

産業組合が出來た  
コチヤ殖民地に

コチヤ殖民地に  
産業組合が出來た

断乎として發せられたる一言は實に「サタンよ退け主たる爾の神を拜し」と之にのみ事ふしとの決意あります。我等は此處に眞の神の子の姿を見且つ世界の如何なる英雄傑

解りません。

我等は此處に眞の神の子の姿を見且つ世界の如何なる英雄傑

をも其前に跪かしむる基督の偉大を

健全なる美風の發達を期するを以て目的とするものなり。以上同地日本大小學校も從來は兒童保護の所管なりしが、今回日本人會事務局のものとするに於し、校舎も完全なるものに改築するとの主旨に依り、天動地の活劇を演じた前獨逸皇帝は其前に跪かしむる基督教の偉大を改善し、生産品の改良と増殖を計り各自の經濟組織を整正し苟も伯爵訓は「養正」で校歌は左の如くだ。

（二）山又山の白雲の、八重に重なる

あなたにも、思ふ心を道はする、

委員は左記宛御照會を乞ふ

ウイルヘルムと肩を並べしめるなら

ば我等は其等の英雄豪傑と基督との相異が何處にあるかを直に了解するれば、これが落成の暁は伯人兒童の孤島に死滅するに當るに於ては、これが出来ると思ひます。

基督教が眼前に群れる榮華を勇士の如ぐる事になるであらうが、海に結構な數を皆爾に與ふべし」との強烈の説教を以て自分行くべき道が「只神なことである。尙交通を使ならしめ

星の光を水く傳ふらん

（三）山又山の白雲の、八重に重なる

あなたにも、思ふ心を道はする、

委員は左記宛御照會を乞ふ

ウイルヘルムと肩を並べしめるなら

ば我等は其等の英雄豪傑と基督との相異が何處にあるかを直に了解するれば、これが落成の暁は伯人兒童の孤島に死滅するに當るに於ては、これが出来ると思ひます。

基督教が眼前に群れる榮華を勇士の如ぐる事になるであらうが、海に結構な數を皆爾に與ふべし」との強烈の説教を以て自分行くべき道が「只神なことである。尙交通を使ならしめ

星の光を水く傳ふらん

（四）山又山の白雲の、八重に重なる

あなたにも、思ふ心を道はする、

委員は左記宛御照會を乞ふ

（五）山又山の白雲の、八重に重なる

（一）山又山の白雲の、八重に重なる

あなたにも、思ふ心を道はする、

委員は左記宛御照會を乞ふ

ウイルヘルムと肩を並べしめるなら

ば我等は其等の英雄豪傑と基督との相異が何處にあるかを直に了解するれば、これが落成の暁は伯人兒童の孤島に死滅するに當るに於ては、これが出来ると思ひます。

基督教が眼前に群れる榮華を勇士の如ぐる事になるであらうが、海に結構な數を皆爾に與ふべし」との強烈の説教を以て自分行くべき道が「只神なことである。尙交通を使ならしめ

星の光を水く傳ふらん

（二）山又山の白雲の、八重に重なる

あなたにも、思ふ心を道はする、

委員は左記宛御照會を乞ふ

ウイルヘルムと肩を並べしめるなら

ば我等は其等の英雄豪傑と基督との相異が何處にあるかを直に了解するれば、これが落成の暁は伯人兒童の孤島に死滅するに當るに於ては、これが出来ると思ひます。

基督教が眼前に群れる榮華を勇士の如ぐる事になるであらうが、海に結構な數を皆爾に與ふべし」との強烈の説教を以て自分行くべき道が「只神なことである。尙交通を使ならしめ

星の光を水く傳ふらん

（三）山又山の白雲の、八重に重なる

あなたにも、思ふ心を道はする、

委員は左記宛御照會を乞ふ

## 人夫募集

一、馬車方一名

食附き月百五十斤以上三百斤迄

火夫一名

食附き月百五十斤以上三百斤迄

慣一はふるえる手で水を興へながら。  
「なにもかも運命だ。お前の近づか  
後も、己はお前を忘れやしない。  
これだけやつと言つた、慣一はせい  
子の手をかたく握つて泣くのであつ  
た。それこそ何物もすかず事の出来  
ない真剣な態度で彼の女を見る事が  
出来た。  
はからずも、詩集草よりまろび  
出た一片の葉に在りし日、亡妻の髪  
を目の邊りに見る事が出来た。書齋  
に立ちつくして、風に出て、廣々た  
とむらがつた平原には風一つなく寂  
の三方をかこで居る林から哀れつ  
ほい鳥の聲が聞えてゐる。その平原  
の向を流れてゐる、リオ・ハバンが  
布をした様に白く見へて、淡き煙  
を残した汽車はサンバウロをさして  
走つて行く。かさこそぞ落ちる木の  
葉にも、秋はせまつて來てゐた。  
過去四年間淋しい獨り生活を續け  
て來た慣一は、初戀のはなやかさで  
い平原の一つ家にどもる灯火にも、  
秋の淋しさを思わせる。  
「モウ秋だ。人もはなやかな青春が  
さざれはしのびやかにせつて、達  
すがる。此の様に秋の様に寂しく初  
めて逝くのが、  
殖民地の秋は次第に深くなつて  
行つた。  
若き青春の血のみなぎつてゐる、慣  
一は、早苗に初めて知つた戀が次第  
にのつて行く。  
せい子の臨終に言つた事が胸にう  
かんで、よい奥さんを貰へと言ひ残  
して逝つた彼の女は、それもなく早苗  
と一緒にになつて、樂しく暮せと言つ  
たようにもかんがへられるのであつ  
た。

戀を拒絶され、空には  
るか、それとて月は  
充ち充ちにならぬか。  
今の苦しき自らの女は、遠かなく大き  
き終つた。憤りの心に秘  
ゆれる心は、近頃にな  
るが、それとて月は  
充ち充ちにならぬか。  
自分の心に秘ひるやがて良縁をするが、  
否定出來ないからだ。  
心は絶へず暗綿や珊瑚の如きを上げつゝ、  
はせた。早苗の心はわき自らの仕事に性となれど、  
おくれ毛が二上る手のしりで紫の雲母の如きを  
念なく仕事に性となれど、  
に浮ぶ。曲線ふみよむ。  
「さうすれば、『退れ』とは云ふが、  
世間中で姫草様の無禮に居るに過ぎないなら、さく  
せんじがついて、  
『横柄な態度』を述べておけ。」  
「横柄な態度力一杯怒鳴つた。そこで泰  
家のへ、官權のあまり理屈を重に沈黙するが危くないん  
だ。田代役目だ。田代役目だ。」  
「アルバート、ドット、  
ある逃亡女奴へして下さる權するのを目撃したたして得る物  
が何をするかを云ふやうに傍に近寄るが危くないん  
くし、イサ

思ひたがれ出た、慎一  
紙を封じてのに出た。  
一點の雲もなく、すみき  
とくと沖天に向かって居る  
いよいよ美しい夜であった。  
大空にはなれた小鳥の様  
羽をのばして思ふ様お  
いような気がして、いつつ  
は、今祝福されて居る三  
虫の聲にもどり、残された  
風の實にも、亦風もないのに  
し晝もなし船はひたすら  
ひてはしり居るかも  
は僕もせず船のあけくれは  
れしねむるも嬉し  
さざ浪するかたそらあおな  
座してうごかず

上にさるは、強きらに舞けるあさひをあげて、  
まるほどに夕日ながめ、やがて死の運命をもつた  
やさしさのころ、啼くもかなしくひびく。  
愛馬レグザア、静かは。  
重き荷を解きてはなべ  
バストに急ぐ愛馬、父戀ふ聲につかれ  
シダーデに出て歸れば、秋に降る雨淋しき里、  
煙草のむすへ消えにさるは。  
◆日本品 フオツクス・トロツカ  
◆農 デリバブリックンヤ作曲  
兼旅館 須ド・モツタ作曲  
受書かは  
“A Manina Betakela”  
ソロカ  
アルアナ  
郵便局  
CASA SUYAMA

廣島縣山縣郡加計町字津原  
佐々木作市 同  
長沼瀬三郎  
セセリイロ、フルタード街一番  
清見付上角  
ロカバーナ館の電報は三  
十三年五月三十日  
在サンバウロ  
人  
帝國總領事館  
旅館旭  
野口喜平治 電話三四一〇二  
ノカバーナ館の電報は三  
候  
市  
日本人基督教會  
牧師伊藤八十二  
集會日曜日午後八時  
假會堂コンシエ街廿三  
郵局千百十三  
分院及び診察の御呼出  
は何時にも應じます  
公認產婆  
佐々木ごよ子  
ルアーネエイカスカ一五三  
マテルニティアラン  
電報ジダーラ二〇三番  
御問合せ下さい  
一サ東京  
杉本芳之助  
レヒビング, 20 S. Paul  
電話セントラル參貳參四  
el. Central, 2008, Santos  
Rua dos Lavradores No. 226

時計修繕所  
ソ・サルセーダス二十三番  
山戸  
販賣  
案内  
ダーデ六二六七番  
横挽縦挽大小各種、カン  
ジヤー、松抜き、ハカリ二十  
曲尺、剃刀、各種鍛、ノ  
メ及グランボ、砥石等  
八十五針レース  
八十五针レース  
御用命に應じます。  
セントラル三八三六  
ミルレース◆



日本刀を振り廻して  
劍舞やら居合抜

帝國ホーテル亂入事件真相

總領事館着情報外電の事實相違

氣轉の君が代で静まる

對米問題に対する反感が募つて、一大行社及セイキンセイシャの代表者

團の壯士が帝國ホーテルのバイレ席上

へ闖入し、狼狽を働いた云ふ前號

所報のアソシエテッド・プレス

緒を陳述したが、彼等の語る處に依

東京電報は、其後當地總領事館入電

の情報に依るこ事實が非常に相違

てゐる、即ち右情報に依つて其真相

を詳報する事にするに、去日夜

恒例のデインカー・ダンスが

始まらうとする際、大行社と稱するセイキンセイの一團とは、偶然その場

十數名の壯士體の人物現はれ、國家

多端の際舞踏を行ふは國を亡ぼす者

である、吾人はその代り雄壯な日本

の劍舞を紹介する」と十歲位の少年

に劍舞を行はしめた、之に續いて更

にセイキンセイシヤと稱する二十餘

名のもの現はれ、對米宣教師は

多端の際舞踏を行ふは國を亡ぼす者

である、吾人はその代り雄壯な日本

## 大石内蔵之助

牛井桃水

第一百七十六回

大方は間違ひない存じ居ります  
と前原伊助も提出した。

『拙者の御覽に入れます物は、高が

鼠賊の申す所、餘り信じ難いとは存

じますが、さもなく書取り置きま

したゆゑ、一應お見比べ下さりませ

う』と赤埴源藏は略圖を出した。

此の時内蔵の助は懷中から、一封

の書面を取り出

『吉田氏の出府後間もなく、例の武

井金左衛門、拙者が山科の陰構へ音

訪れ江戸土産の錦繪、お尋ねに進

上申すと、孰り次の者へ言置いて

の儘立去り、以來對面も致さず、

念に存じたが、見れば此の圖面は

封じて、足下に送名に相成り居るゆ

き、今に開封もせず、拙者預かり置

いて御座る、今日は恰好いい折りか

ら、サ、披見下れう』

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

一同座を開いて數葉の圖面を中央

に並べ、何れも懸るに見較べた。

『武井金左衛門の贈り物、堀部氏の

手に入つた圖面に、九十郎の持出さ

れた圖引と、小分の違いもないさ

良家に押入り、仕事をしたいと思ふ

すれば孰れも正確なもの、唯外廻り

長屋の分、現今に比べて相違あるの

は、ト一拜領の後、いかに建増も

致し、模様がへましたと見えます、

前原氏の外廻り、前庭後園から

其の方がない、重の用心、拙者に捕

入つた、奥向の圖を照らし合して、

赤埴氏の圖面を見れば、幾數や距離

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見

えまするな』

『足下の舊恩に報ひる爲め、心盡

失は御座るまい』

\* \* \*

忠左衛門封おしつれば『舊松平登

之助屋敷明細圖』と記されたもの。

『是はまた思ひも依らぬ獲物、曾て

金左衛門の義弟、鎧治橋内の圖面を

残し、其の後ト一移轉に付き更に

此の圖面を手に入れ差上げたと見